

特集 3

各地域団体で取組まれている事例(新規掲載事例)の紹介

(教育の質を向上するモデルー5)

地域 WiMAX を活用した遠隔授業 (愛媛県愛南町、愛南町教育委員会、慶應大学 SFC 研究所 他)

地域BWAについては、広告掲載ページを参照ください。

〔事業概要〕

- ・地域BWAを情報インフラとして活用した遠隔授業実証を愛媛県愛南町の全面協力により実施。
- ・愛南町内の全ての町立中学校で遠隔授業実証『論理コミュニケーション』が実施されるほか、その他、町内設置の各教育機関においても遠隔授業実証『論理コミュニケーション』等を実施。



〔コラム〕

① サービスイメージやシステム構成

- ・愛媛CATVが提供する地域BWAのインフラ上に、慶應SFC研究所が長年の実証研究のノウハウを活用して市販のインターネットサービス (Microsoft Skype for Business) を活用した全国の地方自治体でコスト的にも品質的にも採用可能な水準の遠隔授業システムの設計・監修を実施(慶應SFC研が担当)

② 事業展開による効果・成果

- ・学校におけるネットワークは校内イントラであるが、使用場所によっては未整備、または、既存ネットワークはセキュリティの観点からポートをクローズしている傾向があり、教育環境において「利用したい時に利用する」遠隔授業用ネットワークには向かない。
- ・地域BWAが有するモビリティ性と、セキュア性の点を活用し、遠隔授業用ネットワークを実現。

③ 事業展開のポイント

独創性・先進性

- ・全国の高校における遠隔授業の全面解禁（2015年4月）等を背景に、学校単独、特に離島山間地域では実現が困難であった、教育改革や地方活性化に貢献する新たな授業の実現の可能性を飛躍

的に拡大することを期待し、実証を推進。

継続性

横展開

効果的なICT利活用

- ・ネットワーク回線の配置のない場所でも実施可能
- ・インターネット等のセキュリティポリシーを回避して実施可能
- ・事業者の采配によってセキュアを担保可能
- ・低成本でリッチコンテンツを扱うことが可能

住民等との連携・協力

- ・愛南町及び愛南町教育委員会は、町内設置の各教育機関と共に本実証の推進を支援

波及効果

[サービス利用者の声]

[今後の課題と展開]

- ・セキュアな回線やプラットフォームを活用したソリューション・アプリケーションの展開等

[導入費・維持費]

文科省補助事業（※）の採択に基づき実施

※人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持向上に係る実証事業
(人口減少地域におけるICTを活用した社会教育実証事業)

[問い合わせ先]

- ・団体 株式会社 愛媛CATV

〒790-8509

愛媛県松山市大手町1-11-4

- ・担当部署名：常務取締役 白石 成人

- ・電話番号/FAX番号：089-943-5001

- ・e-mail : shiraishi@e-catv.ne.jp

- ・その他の問合せ先：地域WiMAX推進協議会事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル11F 一般社団法人電波産業会内

TEL 03-5510-8595/FAX 03-3592-1103 URL (問合せ等) : <http://www.chiiki-wimax.jp>